

平成 23 年度事業報告書

総括概要

十勝・帯広は、「フードバレーとかち」を旗印としてアジアの食と農林漁業の集積拠点を目指して、産業の振興に十勝地域全体が一体となって取り組んでおり、平成 23 年 12 月には「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特別区域」として国際戦略総合特区に指定されました。

当財団は、道立十勝圏地域食品加工技術センターと十勝産業振興センターの機能を軸とし、これまでの取り組みや成果を踏まえ、これらと連動した「ものづくり支援」と「地域連携支援」を両輪とした事業展開を実施してきたところです。また、理事会・評議員会、あり方検討委員会などによる検討を重ね、平成 24 年 3 月に当財団の「産業活性化ビジョン」を策定し、平成 24 年度から平成 28 年度までの 5 年間の事業の展開方向や、当財団が果たすべき役割などを公表しました。

「ものづくり支援」には、地域ニーズの的確な把握に努め、企業相談や人材養成に取り組むとともに、食分野の研究課題、工業系研究課題の把握や解決に取り組み、それらの成果を地域に還元してまいりました。技術相談、技術指導とも前年を上回る実績を残し、特に食関連分野において商品化へ繋がった実績を多く残すことができました。これらの実績増加の要因は、「フードバレーとかち」の推進による食品加工への機運の高まり、さらには「とかち ABC プロジェクト」の普及とともに、機能性素材を用いた商品開発の促進が挙げられます。また、当財団の支援により商品化された商品についても、物産振興や観光振興を担う機関と連携しながら販路開拓の支援をしてまいりました。

「地域連携支援」においては、文部科学省「地域イノベーション戦略支援プログラム事業(ABC プロジェクト)」が、本年度実施された中間評価において一定の成果が認められました。今後、採択期間終了年度である平成 25 年度までの 2 年間に於いて「ABC プロジェクト」における「元気食構想」等の具体的な構築および「検査ラボ」の事業化について、帯広畜産大学等を中心とする産学官金との連携の基に具体的に推進してまいります。

さらに、国の機関や公益団体からの補助や委託を受け、各種事業を実施するなかで、産学官連携によるアグリバイオクラスターの形成促進や食に関する人材の育成、農業機械開発に関する事業をすすめてきたほか、十勝に由来する素材を活用したバイオマスエネルギーの活用に関する調査試験等を行ってきました。

また、「十勝ブランド認証機構」の取り組みを含め地域ブランドのあり方とその形成に向けた検討をすすめるとともに、物産振興や観光振興を担う機関との連携を強化するために関係機関との意見交換を開催するなどの取り組みをすすめてきました。

事業概要

1. 会議の開催状況（評議員会・理事会・行政特別委員会等）

財団事業の実施方針や地域産業の複合化に関する事業化、財団の産業活性化ビジョン、公益財団法人への移行等の協議を実施した。

（1）評議員会・理事会

平成23年6月23日	第1回評議員会・理事会の開催 平成22年度事業報告及び収支決算認定 平成23年度事業予算の変更（補正） 役員の補充選任 公益財団法人への移行 最初の評議員選任方法 等
平成23年11月30日	第2回評議員会・理事会の開催 最初の評議員選定委員会運営要領制定 公益財団法人移行に係る最初の評議員選定委員会委員の選任 公益財団法人移行に係る最初の評議員候補者の推薦
平成24年2月14日	第3回理事会の開催 特別会計補正予算 最初の評議員候補者の推薦
平成24年3月28日	第3回評議員会・第4回理事会の開催 公益財団法人移行後の理事・監事・評議員定数 産業活性化ビジョン（案）の提案 特定資産の取り崩し 平成24年度事業計画及び事業予算 等

（2）行政特別委員会

平成23年12月20日	平成23年度行政特別委員会の開催 平成23年度事業経過及び収支決算見込み 平成24年度事業計画及び予算（案）等
-------------	---

（3）あり方検討委員会

平成23年6月13日	第1回あり方検討委員会の開催 産業活性化ビジョン素案 公益法人制度改革
平成23年9月13日	第2回あり方検討委員会の開催 産業活性化ビジョン素案

公益法人制度改革

平成24年2月14日 第3回あり方検討委員会の開催
産業活性化ビジョン素案
公益法人制度改革

2. 地域振興支援事業

ものづくり、物産、観光等各分野における振興事業の地域内連携・協力を強化し、地域産業の活性化・複合化をより効率的・効果的に促進するため、以下の事業を行った。

- (1) 十勝地域の産業振興に係る意見交換会の実施 (2回 12/19、3/2)
- (2) オールとかち魅力発信連絡協議会 参画 (会議参加2回 12/15、1/19)
- (3) 道東道とかち連携協議会 参画

3. 物産振興支援事業

十勝産の農畜産物の販路拡大を目的とした販売PR事業を実施した。

- (1) FOOD EX JAPAN 2012 北海道十勝物産館出展(3/6～3/9、18社、実行委員会形式)
- (2) 静岡県東部・十勝帯広ビジネスマッチング展示会2011 出席 (11/10)
- (3) とかちを食べよう！秋を満喫フェア2011 ～フードバレーとかち食彩祭～ 開催
10/22・23実施 27ブース(39社、18市町村)、約300アイテム(53社)
- (4) 帯広市東京事務所内 十勝の特産品紹介コーナーのリニューアル
- (5) 各種協力事業
 - ①第17回オール十勝大収穫市 協力・提供 (同実行委員会主催)
 - ②食観光戦略会議 参画 (6回 4/13、5/11、6/3、9/16、10/6、2/7)
 - ③その他、各種会議への出席等

4. 産業連携支援事業

産学官並びに企業・支援機関同士の連携を促し、十勝型産業クラスターの形成、十勝ブランド確立に向けた各種事業を展開した。

(1) 産学官連携促進事業

- ・産学官交流会「ヒューマンネット十勝」の開催

7月5日	テーマ「企業の人材育成(帯広畜産大学)」	86名参加
9月15日	テーマ「池田町」	39名参加
12月16日	テーマ「十勝産小麦」	67名参加
3月21日	テーマ「十勝のお酒」	57名参加

- ・管内クラスター研究会事業への参加

(2) 十勝ブランド確立事業

【PR 啓蒙事業】

- ・北海道うまいものまつり出展販売（札幌地下歩行空間）（6/10～12）
- ・八千代牧場まつり出展（6/19）
- ・十勝ブランド・スタンプラリー実施(7/23～10/30)
参加店 37、応募 267、全店制覇 59、総数 4765
- ・第 5 回とかち食育フェア・プレゼント協賛・PR（7/31）
- ・とかち・北海道満腹フェスティバル出展（9/30、10/1・2）
- ・とかちを食べよう！秋を満喫フェア 2011 出展（10/22・23）
- ・スタンプラリー抽選会実施（11/15）、
十勝ブランド商品券配布（12～1 月、配布枚数 773 枚）
- ・北海道職員に対するチーズあっせん販売（11/10）
- ・十勝ブランド学べる大試食会実施（1/14）
- ・パンフレット作成・配布、ホームページ改定・運営、認証シールの発行

【十勝ブランド認証機構事業の支援】

- ・認証官能検査実施（チーズ 5 回、パン 3 回、菓子 1 回）
*十勝ブランド認証品 チーズ 6 工房 33 品、パン 15 工房 62 品、菓子 12 工房 33 品
- ・各種会議会合開催（総会 1 回、幹事会 2 回、部会 3 回、支援委員会 1 回）

5. 十勝産業振興センター事業（参考資料-1）

企業相談事業、検査分析事業、試験研究事業、人材養成事業、情報提供事業、産学連携事業の 6 つの事業を実施した。

企業相談事業に関しては、昨年度に続き企業訪問等の活動を実施してきた。結果として、相談件数については 317 件（前年比 105%）であった。なかでも技術相談件数については、195 件（前年比 157%）と顕著な伸びを示した。他圏域の公設試等への訪問、情報交換等も行い、今後の相互協力のための人的連携を構築した。検査分析事業では、今年度よりパークゴルフクラブに係る依頼試験の受け入れを始めた。研究開発事業については、企業等からの具体的なニーズに基づき、5 課題設定した。このうち 2 件については予定どおり研究開発を進め、当初予定していた結果を得ることができた。残り 3 課題については継続課題として、平成 24 年度も研究開発を継続する。人材養成事業について、技術講習会「3 次元 CAD 講習会（初級編）」については、募集枠計 10 名に対して 15 名の参加希望があったことから、当初 2 回の計画としていた開催回数を 3 回に増やすことにより対応した。また、「3 次元 CAD 講習会（中級編）」については 1 回開催し 6 名が受講した。他、新規導入機器の利活用に関する技術講習会を 1 回開催した。情報提供事業では、

当財団の成果発表会を平成 23 年 2 月 22 日に開催し企業を中心に当財団が取組んだ事業内容を発信することができた。産学官連携では、当財団が支援等を行い商品化等開発成果につながった商品等を展示会（健康博覧会 2011（東京）及びビジネス EXPO（札幌））に出展し成果の紹介を行った。

6. 食品加工技術支援事業（参考資料-2）

試験研究では、十勝産機能性素材、小麦、発酵バター、食材データベースの 4 課題の研究を実施し、イヌリンヨーグルト、酵母発酵バターなどの商品化（6 件）とデータベース構築を行った。技術指導では、相談件数が累計 297 件（前年比 123%）、指導件数が累計 97 件（前年比 120%）となり、この中から 15 件の商品化につながった。さらに、講師・アドバイザー派遣を 13 件行った。これらの実績増加の要因は、「フードバレーとかち」の推進による食品加工への機運が高まり、「とかち ABC プロジェクト」による機能性素材を用いた商品開発の促進が挙げられる。人材養成事業では、6 回の講習会と 2 件の研修生の受け入れを行った。技術交流では、事務局を務める 2 研究会（累計 5 回）を開催するとともに、「とかち ABC プロジェクト」（12 回）、地域資源高付加価値化研究会（1 回）、十勝ブランド認証機構（7 回）の活動に積極的に参加し、発表・報告・審査等を行った。情報提供では例年実施している研究成果発表会の他、今年度は産業団体等の代表者に対して事業概要の説明と成果説明を行うとともに、2 回の展示会出展、1 件の学会発表および 2 件の専門誌への寄稿を行い、事業の普及に努めた。

7. 地域活性化支援事業（参考資料-3）

補助事業で 5 事業、受託事業で 10 事業、民間企業との共同研究で 1 事業の計 16 事業を実施した。

補助事業では文部科学省、農林水産省、北海道経済産業局、(財)日本豆類基金協会といった国の機関や公益団体から補助を受け実施した。受託事業では、北海道や地方独立行政法人北海道立総合研究機構のほか、農業団体や民間の企業等からも受託し実施した。これらの資金を活用し、産学官連携によるアグリバイオクラスターの形成促進や食に関する人材の育成、更には農業機械に開発に関する事業を進めた。また、十勝に由来する素材を活用したバイオマスエネルギーの活用に関する調査試験等を行った。

以 上

参考資料－1

平成23年度十勝産業振興センター事業報告

1. 企業相談事業

- ・今年度は地域の企業との連携を強化するため、昨年度新規訪問した企業のフォローアップ等を目的とした企業訪問を中心に展開した。また、新規訪問も引き続き実施し、センターを活用頂くためのPR活動を実施した。その他、開設以来実施できていなかった道内他圏域の公設試等への訪問、情報交換等も行き、今後の相互協力のための人的連携を構築した。
- ・昨年2月度に開催した5Sに関するセミナーのフォローアップ等を目的とし、十勝管内の希望企業3社に対し、5Sに関する専門家派遣及び実践を各3回行った。

区分		今年度	前年度	差異
技術相談の窓口	相談受付件数	317件	302件	15件
各企業等から生じた技術課題の相談を受け付け、解決に向けた支援を提供する。	内訳：			
	知財関係	26件	18件	8件
圏域企業等の訪問 圏域の企業、経済団体、業界団体等を定期的に訪問することで、課題を集め、その解決に向けた支	創業関係	9件	3件	6件
	受発注関係	15件	20件	▲5件
	経営関係	21件	6件	15件
	技術関係	195件	124件	71件
	その他	51件	131件	▲80件

2. 検査分析事業

- ・設備の老朽化と陳腐化のため、3次元CADシステム用のPCを更新した。
- ・パークゴルフクラブ公認試験のための設備と試験規格書を整備し、依頼試験を実施した。

区分		事業内容		
		今年度	前年度	差異
検査分析の実施 各企業等から依頼のあった材料等の強度などの分析、試験を行い公的試験機関としての証明を行う。	申込件数	49件	67件	▲18件
	申込試験体数	304件	388件	▲84件
	申込項目数※	3件	2件	1件
	※申込項目は、引張強度試験、圧縮試験、パークゴルフクラブ関係の試験（H23のみ）			
設備機器の開放 企業等の製品開発や品質管理等を行うなどのために、設備機器の開放を行う。	使用申込件数	63件	116件	▲53件
	使用時間数	175時間	424時間	▲249時間
	主な利用機器： 万能材料試験機、恒温恒湿室、走査電子顕微鏡、エネルギー分散型X線分析装置、表面粗さ測定機、サーモショット、3次元CADシステムなど			

3. 試験研究事業

- ・テーマ①～⑤の全てについて、企業等のニーズに基づいた製品開発を進めている。このうち、①については、豆類振興事業（日本豆類基金協会）の補助を受け実施した、③については、帯広市児童会館の共同研究にて実施した。⑤は、知の地域づくり推進事業（道総研）の委託事業として実施した。
- ・これらのうち、④⑤は、H22の企業訪問の結果ニーズが顕在化したテーマである。

区分	事業内容
研究開発の実施	
技術開発共同研究を圏域企業と実施する。	①色彩選別機の新規選別機能の開発（全3年中の2年目） ②搾乳装置用ライナー・チューブの経時劣化に関する調査研究（全2年中の2年目） ③天体望遠鏡方位制御装置の開発（全2年中の2年目） ④ブロッコリー加工装置の開発（全2年中の1年目） ⑤太陽光エネルギーで走行する農業機械の開発（全2年中の1年目）
地場資源の活用及び製造技術等の改良などの試験研究を実施する。	

4. 人材養成事業

- ・CAD講習会（導入編）については受講希望者が多く、当初2回開催の予定を3回開催に変更した。また、H22年度に導入したEDX装置の活用方法を紹介するための技術セミナーを開催し、本機の周知に努めた。

区分	事業内容	
技術等講習会の開催 圏域の技術者の技術力向上を狙った技術講習会や実用法務研修などを開催する。	・「3次元CAD講習会・初級編」 H23. 6. 21～H23. 9. 20	5名
	・「3次元CAD講習会・初級編」 H23. 9. 21～H23. 12. 14	5名
	・「3次元CAD講習会・初級編」 H23. 12. 15～H24. 3. 8	5名
	・「3次元CAD講習会・中級編」 H23. 12. 12～H24. 2. 27	6名
	・「不良対策や異物分析等に使用するSEM・EDX装置の利活用セミナー」 H23. 7. 27	5名
	・「5S・改善活動」のための企業訪問等	3社

5. 情報提供事業

- ・十勝産業振興センターのホームページを運用し、事業活動等に関する情報開示を実施した。
- ・メーリングリストを活用し、イベント開催案内や求人情報等を広範に周知している。
- ・期初に計画していた国際農業機械展への出展については、開催が中止された事から実施できなかった。

区分	事業内容
情報提供事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書資料の閲覧
十勝産業振興センターのホームページやパンフレット、電子媒体により、研究成果、技術情報、事業開催の案内、利用案内等を公開します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 十勝産業振興センターホームページにおけるセンター事業についての情報を公開中 http://www.tech-tokachi.jp/ ・ 研究成果発表会の開催 平成24年2月22日開催

6. 産学連携事業

- ・十勝事業化支援委員会では、帯広市のものづくり総合支援補助金に申請された事業計画への助言等を行った。また、健康博覧会2011では、東日本大震災の影響で平成23年3月開催予定が同年6月に延期されたものでこれに出展した。出展内容は、地域イノベーション戦略支援プログラム（都市エリア型）事業で取組む機能性素材の成果品等の展示を行った。ビジネスEXPOでは、とち財団が製品開発等の支援に関わった成果品を紹介するとともに、とち財団の紹介を行った。上述した事業のほか、地域バイオクラスターネットワーク形成促進事業（北海道経済産業局）などを取組んだ。

区分	事業内容
産学官などの連携を活用した研究開発を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 十勝事業化支援委員会 第1回開催 (H23. 5. 24) ・ 十勝事業化支援委員会 第2回開催 (H24. 3. 22)
地域のシーズ、ニーズ等を有効に活用し新事業を発掘、提案し新事業の創出を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果品の普及拡大 健康博覧会2011（東京ビッグサイト H23. 6. 8～6. 9）出展 ビジネスEXPO（アクセスサッポロ H23. 11. 10～11. 11）出展

7. その他

- ・十勝産業振興センターの効果的な運営等を行うための場として、運営委員会を設置し2回開催した。また、知財情報センターサテライトを設置し企業等からの知財相談に活用した。その他、各種会議等への参加するなど活動した。

十勝産業振興センター運営委員会							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 平成23年6月16日開催 ・ 第2回 平成23年12月20日開催 							
行事等への参画							
<ul style="list-style-type: none"> ・（一社）北海道発明協会が実施する事業への協力業務として、知財情報センターサテライトを設置した。 利用件数は18件 ・ 特許等取得活用支援事業連携会議への出席（（一社）北海道発明協会主催） ・ テクノプラザ帯広への参画 ・ ECOエコGrandPrixへの講師派遣（十勝スピードウェイ） ・ 食糧増産のための環境対応型農業コースへの講師派遣（独立行政法人国際協力機構（JICA）） ・ 第59回豆類生産流通懇談会への講師派遣（北海道豆類振興会） ・ 十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成事業への講師派遣（国立大学法人 帯広畜産大学） 							
会議室等利用状況							
会議室等利用状況	今年度	前年度	対比増減	視察対応状況	今年度	前年度	対比増減
大会議室	172件	230件	-58件	件数	21	23	-2
	9,810名	12,746名	-2,936名	人数	247	477	-230
中会議室	194件	240件	-46件				
	2,926名	3,442名	-516名				
共同研究室	132件	161件	-29名				
	910名	1,168名	-258名				
合計件数	498件	631件	-133件				
合計人数	13,646名	17,356名	-3,710名				

1. 試験研究 ー加工食品の開発及び製造技術改良試験等の実施ー

【試験研究テーマ 4 課題】

① 十勝産機能性素材を用いた製品開発の検討	
研究結果	イヌリン添加ヨーグルトならびにイヌリン添加ドレッシングを商品化。ペタイン添加シカ肉ジャーキーは引き続き商品化検討中。ペタイン添加牛肉ハムは商品化が決定し、現在、委託製造先を検討中。
② 十勝産小麦を用いた加工食品の開発	
研究結果	開発した生パスタについては、現在帯広市内レストランや芽室町のカフェに卸販売を継続中である。菓子用小麦に関しては、主要品種の「きたほなみ」および菓子業界で定評のある市販小麦粉について基本的な物性比較を行った。来年度は今年度のデータをもとに、うどん用中力粉である「きたほなみ」の菓子向き小麦粉について検討する。
③ 酵母発酵乳製品の開発	
研究結果	官能検査による比較・有機酸分析・においセンサー分析等の結果からクエン酸、酢酸の生成が少なく乳酸を多く生成する乳酸菌株を選択した。先に選択した酵母と合わせて100L規模の試作を行った。乳酸菌のみの発酵バター、非発酵市販バターとの比較を行ったところイソアミルアセテート等の特徴的なニオイ物質も検出され、新規な香りを持つバターであることが確認された。
④ 大量調理施設向け地場産品活用のための支援システムの構築	
研究結果	「とから食材データベース」の検索システムを完成し、各事業所の商品情報の入力作業を行った。今後、企業の最終確認およびシステムの改善事項を検討し、平成24年4月末を目指して一般公開の準備を進めている。

2. 技術指導 ー企業等の技術開発・課題解決支援ならびに専門技術・知識の普及ー

【食品加工相談室の開設／現地技術指導の実施】

(A) 食品加工相談

相談件数 合計		【内訳】	受付方法			原料区分			
			面接	電話	E-mail等	農産物	畜産物	水産物	その他
	297		171	104	22	218	60	15	4
前年度	242	前年度	147	67	28	166	61	10	5

[参考] 主な相談内容

- ・加工食品の賞味期限設定に必要な客観試験の実施方法とその評価
 - ・農産物の未利用部位や規格外品の有効活用
 - ・自社商品の変色・変敗等に関する原因究明と対処法の検討
- など

(B) 現地技術指導

指導企業数 合計		指導日数 合計		【内訳】	原料区分			
97		97			農産物	畜産物	水産物	その他
前年度 81		前年度 81			39	39	3	16
前年度 81		前年度 81		前年度 50	26	1	4	

【参考】市町村別の現地技術指導状況

区分	帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
企業数	29	7	1	0	0	2	9	17	11	1
日数	29	7	1	0	0	2	9	17	11	1

区分	大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	その他
企業数	1	0	10	4	1	2	1	0	1	0
日数	1	0	10	4	1	2	1	0	1	0

【参考】主な指導内容

- ・ 製造施設及び工程のチェックによる衛生管理上の原因究明
- ・ 新規機能性素材を配合した新製品の開発に関する検討
- ・ 乳製品の安定製造に向けた条件及び方法の確立

【研究員の講師・アドバイザー派遣】

区分	派遣日	上段：事業・セミナー等の名称 下段：主催者・依頼者	派遣地
講師派遣	H23. 5. 31	平成23年度職員協議会経改事業委員会 春期研修会 「食品加工技術センターにおけるものづくり支援について」 北海道十勝管内商工会連合会	帯広市
講師派遣	H23. 6. 2	十勝アグリハバ 付産業創出のための人材育成 講義「機能性食品」 国立大学法人帯広畜産大学	帯広市
講師派遣	H23. 6. 29	衛生管理講習会 十勝冷凍食品（株）	帯広市
講師派遣	H23. 7. 22	十勝の商品開発セミナー 「十勝の食材の付加価値向上を実現した商品開発事例」 社団法人帯広物産協会	帯広市
講師派遣	H23. 7. 27	十勝教育研修センター 研修講座 十勝教育研修センター	帯広市
講師派遣	H23. 8. 2	衛生講習会 (有) ランラン・ファーム [十勝千年の森]	清水町
講師派遣	H23. 10. 12	テクノプラザ帯広 10月例会 テクノプラザ帯広（異業種交流団体）	帯広市
講師派遣	H23. 10. 19	特別授業「バターを科学する」 帯広市児童会館	帯広市
講師派遣	H23. 10. 19	第4回産学官連携コーディネータ会議 「産学官連携事例報告」 秋田県企画振興部学術国際局学術振興課	秋田市
講師派遣	H23. 11. 1	商品開発セミナーin帯広 「大豆開拓漬の商品化について」 北海道商工会議所連合会など	帯広市

区分	派遣日	上段：事業・セミナー等の名称 下段：主催者・依頼者	派遣地
講師派遣	H23. 11. 21	農産物加工流通論	本別町
		北海道立農業大学校	
講師派遣	H23. 11. 25	衛生講習会	帯広市
		(有) 林製パン工場	
講師派遣	H24. 3. 26	北大リサーチ&ビジネスパークフォーラム 取組発表「地域間連携による事業成果」	札幌市
		北海道・北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会	

3. 人材養成 ー食品加工・商品開発・品質管理等に関する技術者の養成ー

【専門性の高い技術者育成セミナー等の開催】

開催日	開催場所	演題・内容・講師等	出席者数
H23. 5. 11 H23. 5. 13	食品加工 技術センター	「実践、微生物検査の基礎（初級編）」 講師：当財団研究開発課 係長（研究職）川原 美香	8名
H23. 6. 1 H23. 6. 3	食品加工 技術センター	「実践、微生物検査の基礎（中級編）」 講師：当財団研究開発課 係長（研究職）川原 美香	5名
H23. 6. 22 H23. 6. 23	食品加工 技術センター	農産物加工実習（味噌づくり実習、レトルト食品製造実習等） [国立大学法人帯広畜産大学との共催] 講師：当財団研究開発課 5名	10名
H23. 6. 28	十勝産業 振興センター	最近の食品加工技術・機器に関するセミナー [帯広市との共催] 「ソフトスチーム技術を利用した 高品位な食品加工技術について」 講師：(株) T. M. L 代表取締役社長 山川 裕夫 氏 取締役副社長 友田 雅己 氏	25名
H23. 6. 29 H23. 6. 30	食品加工 技術センター	乳製品実習（アイスクリーム、ナチュラルチーズ製造実習） [国立大学法人帯広畜産大学との共催] 講師：当財団研究開発課 副課長（研究職）葛西 大介	10名
H23. 8. 25	十勝産業 振興センター	食品衛生に関するセミナー [栄研化学（株）との共催] 「腸管出血性大腸菌の基礎知識、対策及び検査法」 講師：栄研化学（株）市場対策室 柳沼 健史 氏	31名

【技術研修生の受け入れ】

受入期間	依頼企業の業種等	受入人数	研修内容等
9/9	乳製品製造企業	1名	乳及び乳製品の基礎知識
9/26～9/30	畜産加工品製造企業	1名	食肉（加工品含む）の微生物検査技術の習得

4. 技術交流 ー食品加工・商品開発・品質管理等に関する技術交流活動の実施ー

【技術研究会の実施（事務局担当による支援）】

・十勝圏地域食品加工技術者の会

開催日	開催場所	開催内容等	出席者数
H23. 7. 6	食品加工技術センター	会員における最近の取り組み紹介 会員が抱える課題の提示及び解決に向けての意見交換 今年度の活動内容についての要望把握及び意見交換	14名
H23. 11. 25	食品加工技術センター	会員における最近の取り組み紹介 会員が抱える課題の提示及び解決に向けての意見交換	14名
H24. 3. 19	食品加工技術センター	会員における最近の取り組み紹介 会員が抱える課題の提示及び解決に向けての意見交換	12名

・十勝圏ナチュラルチーズ品質管理研究会

開催日	開催場所	開催内容等	出席者数
H23. 9. 27	食品加工技術センター	ナチュラルチーズの品質管理に関する勉強会及び意見交換 テーマ「乳酸菌の科学とチーズの機能性」 講師：東北大学大学院農学研究科 教授 齋藤 忠夫 氏	16名
H24. 3. 2	食品加工技術センター	ナチュラルチーズの品質管理に関する情報提供・意見交換 テーマ「小規模工房におけるプレミアムチーズ製造を可能とする原料乳の酪酸菌等の制御法とチーズ熟成法の確立」 情報提供者：（地独）北海道立総合研究機構 根釧農業試験場 研究部乳牛グループ 研究職員 窪田 明日香 氏	15名

【とから財団が実施・支援する産学官連携・販売促進等の事業における技術交流】

・とからABCプロジェクト（文部科学省 地域イノベーション戦略支援プログラム）

開催日	開催場所	開催内容等
H23. 5. 26	ホテル日航 ハースラント*帯広	平成23年度 ABCフォーラムとから ～食の機能性・安全性に関する高度な技術開発とその事業化～ [研究員による発表]（平成22年度成果報告） 「十勝産の機能性食材で「とから元気食」を開発しよう！」 発表者：当財団研究開発課 副課長（研究職）葛西 大介
H23. 7. 21 ほか全5回	十勝産業 振興センター他	可能性試験（小豆ポリフェノール）開発会議
H23. 7. 21	帯広東急イン	第1回事業化ワーキンググループ 会議
H23. 8. 5	帯広信用金庫 中央支店	第1回外部評価委員会
H23. 9. 5	帯広信用金庫 中央支店	第1回事業推進委員会
H24. 1. 12	帯広東急イン	第2回外部評価委員会
H24. 1. 19	帯広東急イン	第2回事業化ワーキンググループ・知財ワーキンググループ 合同会議
H24. 2. 16	帯広東急イン	第3回事業推進委員会

・地域資源高付加価値化研究会（経済産業省 地域企業立地促進等事業）

開催日	開催場所	開催内容等
H23. 12. 19	帯広東急イン	<p>[研究員等による発表]（十勝産機能性食品素材の紹介）</p> <p>①チョコリ根由来の食物繊維「イヌリン」の可能性 発表者：当財団研究開発課 研究員 佐々木 香子 （有）十勝野フロマージュ 代表取締役 赤部 紀夫 氏</p> <p>②ビート由来の機能性素材「ベタイン」の活用 発表者：当財団研究開発課 副課長（研究職）葛西 大介 サンダイヤ（株）釧路営業部 部長 古館 具實 氏</p>

・十勝ブランド認証機構（チーズ・パン・菓子製品に係る地域ブランド認証）

開催日	開催場所	開催内容等
H23. 6. 20	十勝産業振興センター	<p>ナチュラルチーズ認証に係る官能検査（食味試験）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般消費者モニター検査における「チーズの評価」に関する解説
H23. 6. 20	十勝産業振興センター	<p>パン認証に係る官能検査（食味試験）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般消費者モニター検査における「パンの評価」に関する解説
H23. 6. 23	十勝産業振興センター	<p>ナチュラルチーズ認証に係る官能検査（食味試験）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家検査における検査員対応
H23. 12. 5 ～H23. 12. 6	十勝産業振興センター	<p>ナチュラルチーズ認証に係る官能検査（食味試験）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般消費者モニター検査における「チーズの評価」に関する解説
H23. 12. 22	十勝産業振興センター	<p>ナチュラルチーズ認証に係る官能検査（食味試験）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家検査における検査員対応
H23. 12. 22	とがち館（帯広市）	<p>十勝ブランド 学べる大試食会（普及啓発イベント）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十勝の小豆に関する解説 講師：当財団事業部長 大庭 潔 ・五味識別検査体験に関する解説 講師：当財団研究開発課 研究員 佐々木 香子
H24. 2. 28 ～H24. 2. 29	十勝産業振興センター	<p>パン認証に係る官能検査（食味試験）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般消費者モニター検査における「パンの評価」に関する解説

5. 情報提供・成果普及等 — 技術支援・研究開発成果の普及及び施設認知度向上・利活用促進活動 —

【成果発表会の開催】

開催日	開催場所	開催内容等	出席者数
H23. 7. 25	北海道ホテル	十勝管内産業団体等の代表者を対象とした 事業概要説明及び食品加工研究開発成果の発表会	28名
H24. 2. 22	十勝産業 振興センター	(財) 十勝圏振興機構 平成23年度成果発表会 (試験研究テーマに係る成果発表)	84名

【展示会等への出展】

開催日	開催場所	開催内容等
H23. 6. 7 ～H23. 6. 9	東京 ビッグサイト	健康博覧会2011（主催：UBMメディア株式会社） ・販売中の機能性素材に関するPR（あずきの素、ポテトペプチド等） ・開発中の機能性食材に関する市場調査（イヌリン配合試作品の試食評価実施）
H23. 10. 4 ～H23. 10. 5	北海道庁 (札幌市)	食品プラザ展示会（主催：北海道立総合研究機構食品加工研究センターなど） ・食品加工技術センターが開発に関連した商品の展示・紹介 (十勝純粋酢、豆腐の薫製、鮭節だし醤油、産学官連携青汁など)

【ホームページの公開・運営】

ホームページアドレス	公開内容（随時更新）
http://www.food-tokachi.jp/	施設概要、業務内容、前年度事業報告、試験研究成果 設備機器紹介、各種書式のダウンロード等

【他機関等主催行事への参画】

開催日	上段：事業・セミナー等の名称 下段：主催者・依頼者	開催地
H23. 5. 20	JICA「食の安全のための畜産物の利用と保蔵技術」 インテリムレポート発表会 (社) 北方圏センター帯広国際センター	帯広市
H23. 6. 15	北海道立工業技術センター平成23年度成果発表会 (公財) 函館地域産業振興財団	函館市
H23. 7. 2 H23. 7. 3	新御当地グルメグランプリ in北海道オホーツク北見 食による観光まちづくり推進協議会	北見市
H23. 7. 10	商店街再生プロジェクト わくわく通RE☆笑店GUY 芽室町商店街再生プロジェクト実行委員会	芽室町
H23. 7. 11	帯広市産業クラスター研究会総会 帯広市	帯広市
H23. 7. 13	函館マリンバイオフィオーラム&フェスタ (公財) 函館地域産業振興財団、北海道、函館市	帯広市
H23. 7. 14	新設の小麦製粉工場「とから夢ミル」視察見学会 (株) 山本忠信商店	幕別町
H23. 7. 26	全道水産加工関係公設試験研究機関等連絡会議 (地独) 北海道立総合研究機構 水産研究本部	釧路市
H23. 7. 22 H23. 9. 22 H23. 10. 11 H23. 10. 21	音更町なたね油製品開発会議 音更町なたね油推進協議会	音更町

開催日	上段：事業・セミナー等の名称 下段：主催者・依頼者	開催地
H23. 8. 25 H23. 9. 13	北海道－静岡連携促進会議（第1回・第2回） (財) しずおか産業創造機構	帯広市
H23. 8. 31	My とから推進会議 帯広商工会議所	帯広市
H23. 9. 2	麦チェーンワークショップin十勝 十勝・麦チェーンツーリズム促進協議会	帯広市
H23. 9. 10	十勝芽室コーン日本一アイス開発会議 十勝芽室コーン炒飯地域活性化協議会	芽室町
H23. 9. 14	十勝－静岡 産業交流セッション 富士山静岡空港利用促進協議会 他	帯広市
H23. 9. 27	食関連企業と機械企業のマッチング会 帯広市	帯広市
H23. 10. 12	十勝ソーシャルビジネス協議会 NPO法人コミュニティシンクタンクあうるず	帯広市
H23. 11. 17	北海道－静岡連携促進会議（第3回） (財) しずおか産業創造機構	静岡市
H23. 11. 25	スクラム十勝シンポジウム2011 スクラム十勝（十勝圏域の研究機関のネットワーク）	帯広市
H23. 11. 29	平成23年度「農村女性のつどい」 北海道十勝総合振興局、十勝農村女性ネットワーク	帯広市
H23. 11. 29	御当地グルメ協議会 十勝地域合同交流会 十勝芽室コーン炒飯活性化協議会	芽室町
H23. 12. 7	北海道産学官プラットホーム公開セミナー 北海道産学官プラットホーム実行委員会	帯広市
H23. 12. 21	食関連「知の地域づくり」推進事業 地域懇談会 北海道立総合研究機構 産業技術研究本部	帯広市
H24. 1. 26	十勝アグリバ 産産創出のための人材育成シンポジウム 国立大学法人帯広畜産大学	帯広市
H24. 2. 3 H24. 3. 14	平成23年度市場志向型ハンズオン支援事業委員会 (公財) 北海道中小企業総合支援センター	芽室町
H24. 2. 6	北海道－静岡連携促進会議（第4回） (財) しずおか産業創造機構	静岡市
H24. 2. 6	十勝芽室コーン炒飯地域活性化協議会 総会 十勝芽室コーン炒飯活性化協議会	芽室町
H24. 2. 7	帯広畜産大学人材育成事業 タスクフォース会議 国立大学法人帯広畜産大学	帯広市
H24. 2. 10	ビートルキョール発売記念講演会 国立大学法人帯広畜産大学	帯広市

開催日	上段：事業・セミナー等の名称 下段：主催者・依頼者	開催地
H24. 2. 17	アスパラ擬葉製品開発会議 清水町産業クラスター研究会	清水町
H24. 3. 6	FOODEX JAPAN（北海道十勝物産館） （一社）日本能率協会	千葉市
H24. 3. 8	帯広市食品安全セミナー兼地域消費者問題懇談会 （一社）帯広消費者協会	帯広市
H24. 3. 12	とち魅力発信フォーラム 北海道十勝総合振興局	帯広市
H24. 3. 16	食関連「知の地域づくり」推進事業 技術開発研究会 北海道立総合研究機構 産業技術研究本部	札幌市
H24. 3. 14	健康博覧会2012 （株）UBMメディア	東京都
H24. 3. 22	北海道フード・コンプレックス国際戦略特区に活用に関する説明会 北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区帯広・十勝連絡会、帯広市	帯広市

【学会等への発表】

発表日	学会等の名称	発表テーマ名
H23. 9. 11	日本食品科学工学会 第58回大会 （開催地：仙台市 東北大学）	「チーズホエーを利用した発酵食品の開発」 発表者：研究開発課 係長 川原美香

【専門誌への寄稿等】

寄稿月	掲載誌等の名称	寄稿テーマ名・寄稿者
H23. 9. 1	「食品と開発」 vol. 42 2011. No. 9 （UBMメディア）	「北海道の基幹作物てん菜（ビート）から抽出した ベタインの機能性」 国立大学法人帯広畜産大学 韓 圭鏞 日本甜菜製糖（株） 名倉泰三 （財）十勝圏振興機構 葛西大介
H24. 3. 9	「砂糖類情報」 No. 186 2012年3月号 （独立行政法人農畜産業振興機構）	「てん菜を原料とした機能性素材～ベタインの利用～」 国立大学法人帯広畜産大学 韓 圭鏞 日本甜菜製糖（株） 名倉泰三 （財）十勝圏振興機構 葛西大介

6. 試験分析（北海道委託）

－利用者からの依頼による食品成分や微生物検査等の試験分析、及び公的機関としての成績書発行－

項目数 合計	【内訳】	区分			
		依頼試験	依頼分析	謄本発行	
40		16	24	0	
前年度	43	前年度	24	17	2

【参考】依頼内容

- ・ 依頼試験：一般生菌数、大腸菌群、耐熱性菌数、糖度測定
- ・ 依頼分析：灰分、水分、たんぱく質、脂質、無機質、無脂乳固形分析

7. 指定管理事業（北海道より指定管理者の指定を受けて実施 平成22年度～平成25年度）

北海道立十勝圏地域食品加工技術センターの設置目的（地域における食品加工技術の高度化を促進し、北海道の食品工業の発展に寄与する）を達成するため、施設等の適切な保守管理を行い、利用者へのサービス向上を図るとともに、設備利用等の促進活動を実施した。

(1) 利用提供業務

センターに設置されている試験機器等を広く食品企業等に開放し、適切な利用指導を行うと共に、加工・分析等の技術支援や情報提供を実施した。

利用件数		利用時間数		【内訳】	利用件数		利用時間数	
					機器等	研修室	機器等	研修室
279		637			268	11	581	56
前年度	455	前年度	1,043	前年度	440	15	976	67

(2) 利用提供業務

試験機器等の利用促進を図るため、ホームページやパンフレット等により施設概要や利用方法等に関する情報を提供するとともに、来館者や見学希望者への適切な施設紹介・PRを実施した。

- ・視察見学による来館状況 24件・293人
 （主な視察者）道内外各自治体の議員団による行政視察
 十勝圏域の各種団体（農業協同組合、商工会など）
 教育機関（帯広畜産大学）ほか

(3) 利用提供業務

利用者が快適に施設を利用できるよう、下記により施設の適切な保守管理を実施した。

- ・施設の機能を常時発揮させるための保守点検、法定点検、修繕等の実施
- ・施設の衛生管理及び美観確保を図るための清掃等の実施
- ・施設の安全確保を図るための定期的な巡回、利用状況把握、異常有無確認等の実施

平成23年度 地域活性化支援事業の実績（受託・補助事業等）

補助事業

文部科学省、農林水産省、北海道経済産業局、（財）日本豆類基金協会といった国の機関や公益団体団体から5事業について補助を受け実施した。

	補助等団体名	事業名	事業内容・目的	実施期間	補助金等
1	北海道経済産業局	北海道地域バイオ成長産業振興・発展対策活動事業	道内のバイオクラスター活動との連携を図り、産学官連携ネットワーク構築を推進し、新製品の開発・新産業の創出を図るとともにバイオテクノロジーの利活用促進を図る。	平成23年4月28日～平成24年3月31日	2,375,000
2	北海道経済産業局	北海道地域食成長産業振興・発展対策活動事業支援事業	道内各地との連携により、地域資源や素材の優位性を活用した商品開発・事業化により、食産業の集積活性化と雇用の創出を図る。	平成23年4月25日～平成24年3月31日	1,683,520
3	(財)日本豆類基金協会	高性能かつ低コストを実現する豆類用光学選別装置の開発	従来による色彩情報による選別機能に加え、形状による異物・不良品判定技術を開発し、高性能な豆類用光学選別装置を開発する。	平成23年4月1日～平成24年3月31日	1,550,000
4	文部科学省	地域イノベーション戦略支援プログラム（都市エリア型）	食の機能性・安全性に関する高度な技術開発とその事業化によるアグリ・バイオクラスターの形成	平成23年4月1日～平成24年3月31日	172,592,860
	北海道				1,999,308
	帯広市				1,999,308
5	農林水産省	緑と水の環境技術革命プロジェクト事業	植物由来バイオエタノールからエチレングリコールへの転換技術開発	平成23年8月30日～平成24年3月31日	8,212,000
補助金等 計				4件	190,411,996

委託事業

北海道、帯広市、地方独立行政法人北海道立総合研究機構、農業団体、民間企業等から受託し、食品や農業機械の開発等中小企業の新事業展開に関する支援及び地域に由来する素材を活用したバイオマスエネルギーに関する分析や普及活動に関する事業を行った。

	委託団体名	事業名	事業内容・目的	実施期間	委託料
1	北海道	地域経済活力向上支援事業	十勝圏における中小企業の早期再生及び新事業展開を支援	平成23年4月1日～平成24年3月31日	4,741,635
2	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	食関連「知の地域づくり」推進事業	太陽光エネルギーで走行する農業機械の要素技術の開発及び高出力新型機種の開発	平成23年9月1日～平成24年3月10日	6,757,234
3			農場産小麦の加工適正評価に基づく加工食品の開発		1,921,693
4	帯広地域雇用創出促進協議会	チーズ工場の職人セミナー	ナチュラルチーズ業界への従事を希望する求職者を対象に、チーズ業界における次代の「オールラウンド職人」を育成する。	平成23年8月2日～平成23年10月31日	1,183,433
5	〃	中間食品素材製造セミナー	十勝の食品加工業界への従事を希望する求職者を対象に地域の食品加工業を支える人材を育成することを目的とする。	平成23年8月2日～平成23年11月30日	313,254
6	〃	バイオマスエネルギーセミナー	十勝の新産業として期待されている「バイオマスエネルギー」の取り組みについて学習し、その普及を担う人材の養成を育成する。	平成23年8月2日～平成23年12月28日	371,171
7	帯広市	フードバレーとからちを推進する「食」のサポート	「食のコーディネーター」のサポート業務等を行い、またそれを通じ、食関連、食周辺産業の担い手としての人材を育成し、食クラスター形成の人的インフラを整備する。	平成23年4月1日～平成24年3月31日	7,421,400
8	日本データサービス(株)	E3ガソリン製造業務	日本データサービス(株)が北海道の委託を受けて実施する「平成23年度E3燃料製造流通販売システム構築事業委託業務」におけるモーター走行試験に供するE3ガソリンを製造供給する。	平成23年9月7日～平成24年2月29日	4,558,759
9	(株)エコERC	バイオディーゼル混合燃料(B5)の分析	脂肪酸組成及び参加安定性(ランシマット法)を一定期間調査し、数値を報告する。	平成23年5月2日～平成24年3月15日	315,000
10	ホクレン農業協同組合連合会	製餡加工適正試験	H23産大手亡の品質低下に伴う製餡加工適正の把握を行う	平成23年12月20日～平成24年1月20日	157,500
委託 計					27,741,079

共同研究

1	日本甜菜製糖(株)	チキンフライバター液鶏唐揚げ粉に添加する各種食物繊維の比較試験	チキンフライバター液鶏唐揚げ粉に各種食物繊維を添加し、味覚センサー・おいセンサーを用いて鶏唐揚げの味・おいの評価を行う。	平成23年4月11日～平成24年3月31日	500,000
合 計					218,653,075